

少林寺拳法



防衛大学校少林寺拳法部

48

平成8年度 部誌・OB会報 NO. 23

目次

部 誌

- 1 部長挨拶 教授（応用化学） 菅野 等
 - 2 学生寄稿
 - 4 1期 主将 後藤 仁志
 - 4 1期 副将 中江 宏彰
 - 4 2期 主将 古賀 信之
 - 4 2期 副将 清水 辺大
 - 4 3期 春日 英男
 - 4 3期 梅原 航
 - 4 4期 遠藤 由起子
 - 4 4期 西尾 実
 - 3 平成8年度 活動成果報告
 - 4 部長・顧問・4 2期幹部名簿
 - 5 部員名簿
 - 6 平成9年度年間計画
- 奥平会報

- 1 巻頭言 奥平会会長 永 富 信 吉
- 2 平成8年度奥平会活動概要
 - (1) 現役部員に対する支援
 - (2) 総会の実施
 - (3) 平成8年度会計報告
 - (4) 丸川前部長の謝辞
 - (5) 連絡事項
 - (6) 奥平会名簿

ご挨拶

部長 菅野 等

合 掌

この部誌が全国のOB諸兄の手元に届くころには、場所によっては桜のつぼみもほころびる頃で、新年の挨拶もピンぼけの感を免れないのではと思われませんが、まずは、OB諸兄の今年のご多幸をお祈り申し上げます。

今年は、新年早々ロシアの船からの原油もれ、株価の下落と景気の腰折れ懸念、ペルーにおける去年の暮れからのテロ集団の日本大使館占拠の未解決、など日本の前途に暗雲をなげかけるような事件が続いておりますが、この部誌が皆様の所に届くころまでには良い方向に解決していることを願わずにはおれません。

我らが防大少林寺拳法部に目を転じますと、昨年は後藤君を主将として良く頑張り、関東学生大会で最優秀3種目、全国学生大会で最優秀1種目を獲得することができました。ただ、全国大会で8連破中の団体演武は残念ながら優秀賞でした。しかし、団体演武の最優秀は女性だけのチームに与えられたもので、女性の活躍を奨励する意味合いが多分に強かった結果だと考えられます。

現在、古賀君が主将になり、山田(三佐)監督のもと技の習練にはげんでおります。ここ数年続いている、部員数の減少はなかなかくい止めることができませんが、地道に努力して昔の人数(>80名)にもどって行きたいと考えております。後輩も少数精鋭で頑張っておりますので、今年も暖かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

結 手

「4年間を振り返って」

41期主将 後藤 仁志

合 掌

この4年間何か一つの事に真剣になって頑張ることができたことを誇りに思います。またそれが少林寺拳法であった事を更に誇りに思います。これがクラブを終えた今、自分が思っている正直な気持ちです。確かにこの4年間で経験したことは全てが楽しいことばかりではありませんでした。むしろ辛い事の方が多かったように思えます。多くの物事を犠牲にした事も確かです。しかしそれ以上に大切な物を得ることができました。特に幾多の苦と僅かの楽を共にした同期の17名には大変感謝しています。これは私だけではなく他の同期も思っている事であると思います。

最近少林寺拳法部の部員数は年々減少しています。私が入部した時と今を比べると随分減りました。これは非常に残念な事であり、直ちに対処しなければならないことです。41期も新入生勧誘には力を注ぎましたがあまりうまく行きませんでした。我が部が今まで各大会において好成績を残すことができたのは、豊富な人材があったからだと言っても過言ではないと思います。それは人材が多ければ多いほどそれだけ優秀な者も多くいるからです。42期は部員を増やす事を第一にしてこれからの1年間後輩育成に頑張ってください。それが我が部の栄光の戦績を伝統として後輩につなげていく第一歩であると思います。

最後になりましたが、部長を始め師範、監督、顧問、OBの方々には大変お世話になりました。今後とも変わらぬ御指導・御鞭撻の程宜しくお願い致します。

結 手

「政権を終えて」

41期 副将 中江 宏彰

合 掌

月日の経つのは早いもので政権を終えた今感じることは、指導する側もされる側も共にそれぞれの辛さがあり、決して楽ではなかったと言うことです。私がこの4年間で学んだ上達への近道は、まず人に聞くことです。教えを請うことは恥ではありません。次に上手な人をよく観察しより多くを盗むことです。最初は形を真似することで十分です。最後に人の見ていない所で一生懸命練習することです。周りから卑怯者呼ばわりされても上達した人の指摘を素直に受け止める謙虚な姿勢を忘れてはいけません。以上が私が学んだ上達への近道ですが、これを実行するに当たり上級生の協力が必要です。一つは、下級生が気軽に質問できる雰囲気を作って挙げる事、もう一つは、自分自身の技を磨くこと。人に教えると言うことは、自分がその技を極めなくてはなりません。より一層の努力を持って技の研究に励んで下さい。演武の道を極め、大会で多くの賞を取ることはすばらしい事です。しかしそれだけが少林寺拳法の全てではありません。くれぐれも防大と言う殻に閉じこもらず、もっと広い視野を持ち、他との交流を深めつつよりすばらしい少林寺拳法部を築くことを祈願します。

最後に師範、部長始め監督、顧問の方々に感謝すると共に、これからも益々のご支援、御指導を賜りますよう宜しくお願いします。

結 手

「武道としての少林寺拳法」

42期 主将 古賀 信之

合 掌

我々42期が防大少林寺拳法部に入部し早3年の月日が経ち政権を担当することになりました。諸先輩方の築き上げられた光輝ある伝統を受け継ぎ、更に高めていく所存です。

我々42期は10人と少数ではありますが、同期一致団結し、我々の方針である、「武道としての少林寺拳法」つまり乱捕、技、演武更には気力、体力の全ての面においてバランス良く向上することを目指し、それを達成するべく日々精進し、また後輩を指導していくつもりです。

最後になりましたが、諸先輩方今後とも変わらぬご支援ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

結 手

「政権として」

42期 副将 清水 大

合 掌

我々42期に政権が交代し、早くも2カ月が過ぎ去ろうとしています。この2カ月間は賦行錯誤の連続であり、部を運営していく事の難しさを実感しています。42期は全員で10名と少なく、各人の負担は大きくなりますが、これまで以上に協力し合い、政権としての勤めを全うしていきたいと思っております。

さて、部員数の減少はこの数年間我が部の抱えている大きな問題です。特に、せっかく入部してきたのに途中でやめてしまう者が出るのは残念で成りません。このような問題の原因は、クラブに魅力が足りないことであると思います。防大少林寺拳法部は、転部してくるものが続出して然るべきはずの部であると思うのですが、実際は逆です。それでは魅力ある部とするにはどうすべきなのでしょう。やはり、「練習が楽しい」ということが第一条件でしょう。我々、42期は日々の練習の中で各人が己の技術の上達を楽しめるような、少林寺拳法の運用の面白さを実感できるような、メニューで練習していく方針です。また、諸先輩方の遺した良き伝統を継承し、より良い防大少林寺拳法部を築くための糧として役立てていきたいと思っております。

未熟ゆえ、至らぬ点の多かろうとは思いますが、諸先輩方には今後ともよろしくご指導お願ひいたします。

結 手

合 掌

私は、もともと格闘技に興味があり、心身ともに強くなりたいと思っていたので、色々な種類のある武道の中で、その「突き」「蹴り」に加え「関節技」や「投げ」と技のバラエティに富んでいると言うのも去ることながら、その教えも心を鍛えるのに為になると思ひ、少林寺拳法を始めました。

習い初めの頃は、基本の突き、蹴りの練習や、体力増強などの地味な練習で、やっけていても、あまり楽しいものではありませんでしたが、だんだんと色々な技を習い、3級、2級、1級と昇級していき、そして私が、少林寺拳法を始めた当初の目標であった初段になり、帯の色も黒になり、技を覚えることが、楽しみになっていました。

練習は、楽しいだけでなく、厳しく辛いこともありますが、それを乗り越えることが、出来たとき、自分に自身が持てる様になったと思います。

また、今回行なわれた第三十回少林寺拳法全日本学生大会は、私にとっては初めて選手として出場する、大きな大会で、そこで、最優秀を受賞すること出来たことでより自分に自身が持てる様になったと思います。

「己こそ己の寄るべ」と聖句の中にあるように、自信をもてる確固たる自己を確立することにより、初めて他の人にも優しくすることが出来ると思ひます。その点、私はまだまだですが今までの述べてきた事を糧として自己だけでなく、他者にも優しくなれる様な人格になれるように修業し、更なる自己の躍進を求め、少林寺拳法の修練に励んでいきたいと思ひます。

結 手

「少林寺との出会い」

43期 梅原 航

合 掌

私は、防大に入校し、小、中学校とやってきたスポーツをやろうと思ひ、そのクラブの見学に行きました。しかし、私が想像していたものと多少異なっており、新たに何のクラブに入ろうかと考え直すことにしました。

ある日、どのクラブに入るか決定しなければなりませんでしたが、当時私は学生舎でミスばかりして上級生から目をつけられていました。そこで、どんなことにでも耐えることを身につけたいと思ひ部屋長に相談したところ、「少林寺に入れ」と一言。しかも部屋長も少林寺拳法部でした。

私が少林寺に入部することを決心したとき、他の上級生からは「辞めとけ」と有り難い御忠告を何度もいただきました。実際、入部してからは後悔の連続でした。しかし、私が今まで辞めずに続けて来たのは、同期の存在もありましたが、先輩方の指導に対する熱心さだと思ひます。

少林寺拳法部と言うのは、他のクラブからはとても恐れられている様な気がしますが、しかし、私達はそのような感情を抱いたことはないとは言えませんが、「師を重じ」「同志親しみ合い助け合い」「朋友を信じ」等様々な教えがあります。しかも、実際に防大少林寺拳法部はそれら全てを実践していると言えます。

最後に、私は初め他の意見に揺さぶられて「ああ少林寺はそういうとこなんだ」と何も知らずに決め込んでいました。そして一年と八カ月が経ち正直言うと、少林寺は防大生にとって一番大切なものを与えてくれると。少林寺と出会い、今現在つくづくそう感じている次第であります。

結 手

「防大少林寺拳法女子部員として」

44期 遠藤 由紀子

合 掌

私が防大少林寺拳法部の入部を希望していた当初、両親をはじめ、指導教官、上級生や同期の仲間達は心配をしてあまり勧めてくださいませんでした。しかし、入校当時は、第一次志望校不合格という挫折を体験した直後であり、防大生活で自分の夢に代わることをやっておきたい、と強く志望していました。そこで、一歩自分の誇りを持つ部はこの部しかないと思い、少林寺拳法部入部を決意しました。体力的なことはもちろんですが、それ以上に不安だったのは、男子ばかりのなかでどうやってやっていくか、と言うことでした。しかし、ランニングをすするときには、主将自ら一緒に走ってくださったり、体力増強では同期や上級生が励ましてくださったので、心の大きな支えとなりあきらめずにがんばり続けることが出来ました。今では、部の雰囲気のうち解けて何の気兼ねなく練習に集めるようになりました。

現在は唯一の女子部員ですが、私が女子部員としての一つの道を残すことにより、後の期に続き、新たな伝統が生まれてくるのだと思うと使命感が湧き、気が引き締まります。

44期は9名という少人数ですが、上級生を信頼して練習に励み、防大少林寺拳法部の伝統を受け継いでいくよう、たゆまぬ努力をしていきたいと思いを

結 手

「少林寺拳法部に入部して」

44期 西尾 実

合 掌

私が少林寺拳法部に入部してはや一年が経ようとしています。入校当初は、体力をつけようと思い、どのクラブに入部しようか大変迷いましたが、同じ中隊の四学年の方に、「一緒に頑張らないか」と言われ、入部を決意しました。

入部してしばらくすると、自分の心の中でみんなについていけるのだろうか、という気持ちが芽生え始めました。しかし、自分一人負けるわけにはいかないと思い、もう少し頑張ってみようと思いつつ挫けそうになる度に思い、自分に喝をいれてやってきました。

夏合宿が八月の下旬に行なわれましたが、私はそれこそついていけるかどうか...不安だったので自分でトレーニングをしていましたが、いざ始めてみると、やはり自分のトレーニングでは足らず、ついていけるだけでもかなり大変でしたが、同期のみんなの助けを得て、何とかクリアすることが出来ました。夏合宿を乗り越えたことは、私の中の一つの自信ができました。ただがむしゃらに突き進んできましたが、一つ一つ障害を乗り越えたことで、自分の中に「頑張れば道は開ける」という自信が芽生えてきました。これをモットーとして、少しでも自分を向上させようと思いを

44期は、部員数9人と史上最も少ない部員数の期ではありますが、9人全員一丸と成って、黒帯の取得、全日本学生大会、関東学生大会等など、多くの大会、イベントへ向かって行き、同期手を取り合って、助け合い励ましあっていき、共に強くなれるよういっそう精進を重ねて努力していこうと思いを

結 手

平成8会計年度会計報告

(H8.1.1~H8.12.31)

金額	科目	金額	科目	金額	科目
0000	収入		支出		
1	前年度繰越金	1,316,351	1	平成8年会報発行費	226,762
2	OB会費の減少に伴う 支援金	417,620	2	会員の慶弔に関する費用	6,900
3	利息	15,953	3	少林寺拳法部への支援 (1) 各種大会支援 (関東、全日本、全自)	150,000
4	その他	6,860	(2) 各種行事支援 (歓迎会、納会)	70,000	
			(3) 技術向上支援	100,000	
			(4) その他	8,714	
			4	会費等による少林寺拳法部 支援等に対する報償費	11,700
			5	奥平会運営及び活動費	87,700
合	計	¥1,759,784	合	計	¥ 661,776
残高(収入-支出) =		¥ 1,098,008	次会計年度繰越		

OB会費の減少に伴う支援金の支援者

番号	期別	氏名	支援金	番号	期別	氏名	支援金
1	部長	菅野 等	2000	41	20F	岸本 昌文	2000
2	10F	井出 弘一	2000	42	21A	大谷昭次郎	2000
3	13A	白石 克成	2000	43	21A	桑原 幹夫	2000
4	13A	益田 修	2000	44	21N	山口 次郎	6000
5	14A	赤瀬 良二	4000	45	21F	木山 幸保	2000
6	14A	清水 重周	5000	46	21F	黒沢 豊彦	2000
7	14A	中原 勇	2000	47	21F	廣江 勝馬	2000
8	14A	原田 敏男	2000	48	21F	田原 俊幸	2000
9	15A	上杉 和壽	2000	49	22A	財城 昭彦	3000
10	15A	加藤三千夫	6000	50	22A	野口 利保	4000
11	15A	野間口光男	2000	51	22A	松村 利宏	2000
12	15A	花房 晃夫	2000	52	22A	吉岡 聖二	2000
13	15N	今村 修二	6000	53	22N	高塚 裕幸	4000
14	15N	山下 啓介	15000	54	22N	坊河内広明	2000
15	15N	山崎 富雄	2000	55	22F	小関 信宏	2000
16	16A	佐々木二郎	4000	56	22F	堂込 勝也	2000
17	16A	富本 啓一	2000	57	22F	野村 勝廣	2000
18	16A	芦岡 広明	2000	58	23A	奥野 和男	2000
19	17A	小池 保治	2000	59	23A	日高 政広	2000
20	17A	佐藤 吉信	2000	60	23A	岩田 清文	2000
21	17A	福澤 賢	2000	61	23F	池邊 正	2000
22	17A	吉川 雄二	2000	62	23F	松尾 茂	2000
23	17A	中尾 吉孝	4000	63	24A	浅野 博義	2000
24	17F	石渡 幹生	2000	64	24A	稲葉 貞志	2000
25	17F	稲見 潔	2000	65	24A	金田 辰美	2000
26	18A	大西 正俊	2000	66	24A	洲 靖隆	2000
27	18A	河野 基春	2000	67	24A	堀之内 誠	2000
28	18A	門野 睦廣	2000	68	24A	山田 雅巳	2000
29	18A	中島 仁文	2000	69	24A	山川 純次	2000
30	18A	魅澤 章雄	2000	70	24N	佐伯 泰啓	2000
31	18N	平原 誠	5000	71	24N	山本 浩	2000
32	19A	屋久 俊郎	4000	72	24F	佐藤 秀幸	2000
33	19A	青柳 忍	3000	73	24F	出口 潔	2000
34	19F	田中 秀明	2000	74	25A	小野寺 靖	2000
35	19F	松下 睦祐	2000	75	25A	小菅 康雄	2000
36	20A	浅原 昭夫	2000	76	25A	佐伯 義次	2000
37	20A	小林 実	2000	77	25A	重石 喜幸	2000
38	20A	高岡 正明	2000	78	25A	田草川茂人	2000
39	20A	半澤 康司	2000	79	25A	若本 順二	2000
40	20A	山形 克己	2000	80	25N	杉原 耕二	2000

番号	期別	氏名	支援金	番号	期別	氏名	支援金
81	25N	高島 修	2000	121	30N	湯浅 秀樹	2000
82	25F	安芸 一	2000	122	30F	黒田 健一	2000
83	25F	尾崎 信朗	2000	123	31A	池ノ本 八郎	2000
84	25F	坂本 卓己	2000	124	31A	亀山 慎二	2000
85	25F	藤吉 恵一	2000	125	31A	辻 政幸	2000
86	26A	石川 毅	6000	126	31A	久富 博幸	2000
87	26A	及川 幸夫	2000	127	31A	藤岡 登志樹	2000
88	26A	金子 寿弥彦	2000	128	31A	松井 健一	2000
89	26A	谷 俊彦	2000	129	31N	大井 一史	4000
90	26A	吉田 吉宏	4000	130	31F	阿部 博文	2000
91	26A	石山 暁	10000	131	32A	川崎 誠二	2000
92	26N	市坪 秀明	2000	132	32A	竹内 利治	2000
93	26N	道満 誠一	2000	133	32A	中村 裕亮	2000
94	26F	福島 睦	2000	134	32A	福元 昌二	4000
95	26F	米子 誠二	2000	135	32A	山地 伸一	2000
96	27A	大居 一之	2000	136	32F	高橋 秀雄	2000
97	27A	川村 治彦	10000	137	32F	渡部 誠	5000
98	27A	行事 正	5000	138	33N	渡邊 浩	10000
99	27A	長合 友造	2000	139	33F	新崎 秀樹	2000
100	27A	津田 浩司	2000	140	33F	高草木 浩寿	2000
101	27F	堀田 隆治	2000	141	33F	増田 友晴	2000
102	28A	岡澤 武彦	2000	142	34A	石黒 太美英	2000
103	28A	幸野 英明	2000	143	34A	篠原 康一	2000
104	28A	古賀 敏明	2000	144	34A	松永 康則	2000
105	28N	中川 勝也	2000	145	35A	瀬戸口 淳	10000
106	28F	山田 顕嗣	5000	146	35N	三浦 則文	2000
107	29A	浅川 玉樹	2000	147	35N	森泉 周	6000
108	29A	大川 浩司	2000	148	35F	堀 修二郎	4000
109	29A	甲斐 正人	2000	149	36A	村上 至	2000
110	29A	駒井 紀美彦	2000	150	37N	岩本 正行	4000
111	29A	立林 剛	2000	151	38A	宮下 克聡	4000
112	29A	津田 芳明	2000	152	39F	前床 泰彦	20000
113	29A	中村 浩之	2000	153	その他	氏名不明分	2000
114	29F	高松 実	2000	154			
115	30A	岩熊 真司	2000	155			
116	30A	中井 馨	2000	156			
117	30A	中村 大助	2000	157			
118	30A	林 宏幸	3000	158			
119	30A	山口 芳正	2000	159			
120	30N	時久 寛司	2000	160			

1 今後の活動資金について

(1) OB会資金の残高推移の試算

2月15日現在の残高 : 約190万円 (現4年生(#41)納入済み)
1年間の基本的支出平均 : 約70万円 (最近の4年間の実績から)
新規会員10名分のOB会費 : 約50万円

↓

(10名分のOB会費) - (1年間の支出平均) = 約マイナス20万円

毎年、卒業部員10名がOB会費を納入した場合、今後の年当初の資金残額
(単位:万円)は次のとおり

H9初,	H10初,	H11初,	H12初,	H13初,	H14初,	H15初,	H16初,	H17初
190,	170,	150,	130,	110,	90,	70,	50,	-20

前提

- ・前年度の卒業生が皆入会しOB会費を納入する。
- ・部員は45期以降も10名-現状維持-とする。
- ・会費は5万/人、年間支出は70万円とする。

以上から、基本的な支出だけから計算すると、約6年後(平成15年)には突発的な支出に対応できなくなり、約8年後(平成17年)には赤字となる。(保有資金の適正な金額についての議論はないが)少なくとも、42期(9名)・43期(13名)・44期(10名)であることから、3年間は新規OB会員が10名前後となり、現行の制度を継続すれば3年後には確実に約130万円にまで減少する計算となる。

一方で、遠方で行われる試合への参加・本山合宿への本校所属OBの参加に際して、資金面の支援を行う場合、保有資金が更に減少してしまうことになる。

(基本的支出には校外合宿への支援は含んでいないため)

(2) 今後の対策

より多くの部員の確保に努めることは当然のことであるが、部員の増加が見込めない場合を考慮し次の事項について検討し、支出を抑制し資金の確保を図る必要性があると考えます。

- 基本的支出の削減 : 規約等に影響されない範囲の支出の見直し
(会報作成代を削減; 今回試行)
- 少林寺拳法部活動支援の縮小: 各種大会への支援金の削減
- 奥平会会員への支援金依頼: H13頃を目途に、支援金を募る。
- 会制度の見直し : 現行の終身会費制度から年会費制(例)への変更を含めて検討

以上、4項を列挙したが、c項は既に今年(平成8)度実施しているほか、将来赤字の時代になった場合、d項の会制度の見直しに波及することも考えられる。当面は可能な範囲の支出削減(今回会報印刷を自前で実施、約10万削減)を図りつつ現状のOB会活動を継続することとする。

2 今後の本校勤務のOB(顧問)数について

平成8年度本校勤務のOBの人数は、研究科学生を除いて7名である。(期別の内訳は16、18、22、28、30、33、33期、階級では2佐から1尉)現役部員の活動を直接的に関与し支援するこの人員についても、現在の部員数の減少に伴い将来は減少することが予想される。

そのため、現役学生の活動支援の維持・充実のためには、合宿地近傍のOBによる合宿支援、本校近傍の部隊所属になったOBの奥平会本部活動への参加が必要となろう。またOBに限らず校内や学校近郊の顧問を増加することも考えなければならない。

ご挨拶

前部長 丸川 武志

合 掌

新しい年を迎え皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。今年は久方ぶりに部誌・OB会報に寄稿させて頂きたいと存じます。私が定年により退官致したのは平成3年の春でおよそ6年前のことになります。以来防大の方へ参ることも比較的少なくご無沙汰がちですが、時おり菅野部長とのお電話により、また送付して頂いている部誌を通じて近況を伺っております。伝統的な部員のたゆまざる努力と部関係者の親身になるご尽力に対して敬意を表します。

さて、私はこの間、平成7年秋の叙勲において教育功労の栄を受けることができました。早速に各方面より数々の身に余るご祝詞を頂き、誠に有り難く存じておりますが、40余年にわたる国の機関での職務を大過なく終えたことに感慨も一しおのものがありません。部の関係からも納会の席上ご祝詞と共に結構な記念品を頂戴致したところですが、昨平成8年秋にはさらにOB有志から別便にて結構な記念品が贈られて参りました。個々の方々に直接返礼を致すべきですが、現住所を調べるのがなかなか難しく、略儀ながらこの紙面をお借りして御礼申し上げます。同封された名簿を拝見し、部員時代における諸兄の勇姿を懐かしく思い浮かべております。

私は退官後、アイホン株式会社（非常勤技術顧問・監査役）にて民生用LAN通信機器の開発に関わっておりますが、健康の方も少し弱くなった程度ですからいましばらくは続けられることでしょう。

寒さに向かう折から皆様ご自愛くださいます様。

結 手

丸川 武志	田原 宗重	A88	88	丸川 武志	林 小	88	88
内藤 正	岡田 支	A88	88	黒目 誠	神崎 誠	88	88
高橋 隆	高 隆	V78	78	伊藤 誠	松本 誠	A88	88
伊藤 隆	藤 隆	A88	88	伊藤 誠	高橋 誠	A88	88
丸川 武志	中村 公	A88	88	丸川 武志	中村 公	88	88
丸川 武志	上 隆	A04	04	丸川 武志	上 隆	88	88

其月々連絡各系図

1 主旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。

2 連絡の要領

各期に1名、連絡担当者を置く。

住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年10月1日までに同期の連絡担当者
に連絡し、変更事項を告げる。

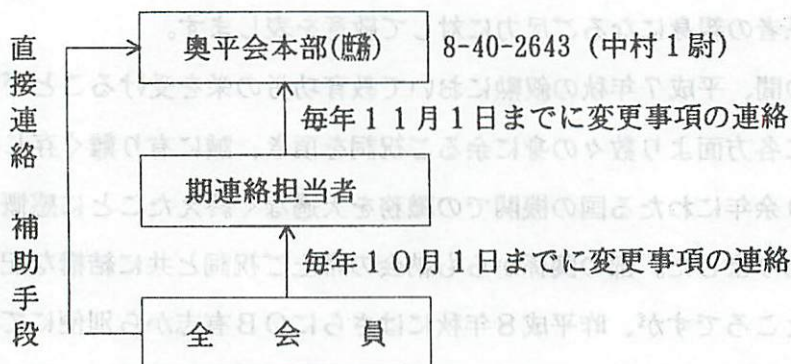
連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年11月1日までに奥平会本部（防大
庶務）に連絡する。

その他、会員の慶弔に関する事項については、各人毎直接または連絡担当者を通じ
て奥平会本部に連絡するものとする。

3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を指名する。（継続を妨げない）

4 期連絡網



5 期連絡担当者(H6.6～)

10	10A	蔵田 弘明	市ヶ谷	25	25N	内山 哲也	船越
11	11A	勝野 建朗	千僧	26	26F	福島 陸	空幕
12	12A	衛藤 利治	古河	27	27F	堀田 隆治	檜町
13	13A	高本 俊之	日本原	28	28A	湯浅 悟郎	桧町
14	14A	清水 重周	東千歳	29	29A	古川 靖人	武山
15	15A	上杉 和壽	海田市	30	30A	福田 洋司	目黒
16	16A	富本 啓一	八尾	31	31N	迫田 浩文	大湊
17	17A	福澤 賢	伊丹	32	32A	福重 毅尚	富士
18	18F	笠原 久	檜町	33	33A	富樫 勇	滝ヶ原
19	19A	前之園敏雄	朝霞	34	34A	竹内 博忠	岐阜
20	20A	小林 実	富士	35	35A	戒田 重雄	習志野
21	21A	湖崎 隆	目黒	36	36A	藤岡 史生	真駒内
22	22A	松村 利宏	檜町	37	37N	高取 哲朗	徳島
23	23A	日高 政広	檜町	38	38A	奇藤 浩	神町
24	24F	中館 利光	千歳	39	39A	中村公多朗	八戸
				40	40A	上野洋介	名寄

奥平会名簿

1 名誉会員

職名	氏名	現所属	連絡先	備考
部長	菅野 等	化学教室	〒236横浜市金沢区釜利谷東6丁目34番 1-411 TEL045-786-5877	防大 2401
師範	田村倉蔵		〒187小平市美園町3-27-5 TEL0423-43-0416	
師範	神田憲和		〒272市川市鬼高2-12-5-705	
師範	頼富英武		横須賀市林5-6-11 TEL0468-56-7663	
前部長	丸川武志		〒120足立区小台2-33-2 TEL03-3919-5910	
元校友会 会会長	土田國保		〒115東京都北区西が丘1-28-4 TEL03-3900-0409	
元顧問 (OB)	奥平正人 (興平会会長)		〒828豊前市小石原392-3 TEL0979-82-2287	10期～ 4大階級
"	松木			
"	前原良弘		〒252藤沢市高倉950-5	
"	松本宏			
"	宍戸俊之		〒237横須賀市田浦港町24 TEL0468-22-3500	
"	森田晃一	12教団 整備群司令		17～19期 指導教官
"	辻 勇雄	横須賀地方 總監部防衛 部第1室	〒237横須賀市追浜本町2-50 海自室ノ木宿舎123号 TEL0468-66-7150	S51.12～ S54.1 指導教官
"	今別府政実	幹部候補生 学校		S55.3～S57.8 指導教官
"	富野 博	中警団	〒277千葉県柏市根戸467-103 2-404	H1.3～H3.8 指導教官
"	米村ゆかり	技術研究本 部(陸付)		研究科28期

2 正会員

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
10A	蔵田 弘明	市ヶ谷	中央調査隊	
10A	黒野 耐	目黒	防衛研究所	
10A	清水 篤男	目黒	幹部学校研究部	
10A	松島 順一	富士	富士学校総務部長	
10A	三井 光夫	目黒	防衛研究所	
10N	岡崎 昭一	退職	〒231 横浜市中区本牧原川1-1103 三浦海岸ハイソク14-1441	
10F	鈴木 勝人	浜松	1空団	
10F	出田 弘一	新田原	5空団	
11A	勝野 建朗	千僧	千僧駐屯地業務隊	
11A	須ヶ崎 了英	目黒	統幕校教育課長	
11A	廣岡 征夫	小平	業務学校	
11A	水野 照夫	用賀	衛生補給処	
11N	佐藤 正秀	鹿屋	第211教育航空隊副長	
11N	渡辺 貞吉	佐世保	佐世保戦術装置運用隊司令	
11F	上田 勇作	退職	南国殖産(株)	
11F	坂元 正昭	退職		
11F	清水 正睦	府中	総隊防衛部長	
11F	田谷 俊之	札幌	北部方面総監部	
11F	藤田 尚	目黒	幹部学校	
12A	新井 宏	逝去		
12A	衛藤 利治	古河	施設補給所総務部	
12N	佐藤 備凡	目黒	海上自衛隊幹部学校総務課長	
12N	津川 保夫	呉	呉地方総監部管理部援護業務室長	
12N	橋田 典幸	呉	潜水艦教育訓練隊副長	
12F	田中 紘治	浜松	1術校学生隊長	
12F	野口 昭徳	目黒	防衛研究所	
13A	石原 薩雄	前川原	幹候校	
13A	白石 克成	北富士	1特連5大隊	
13A	高本 俊之	日本原	日本原業務隊	
13A	戸田 勝秋	宇治	関西補給処需品課	
13A	西村 繁樹	目黒	幹部学校付	
13A	益田 修	健軍	9地区補給所	
13F	松生 剛	那覇	南警隊	
14A	赤瀬 良二	帯広	第5特科連隊	
14A	斉藤 正精	退職	日本IBM(株)	
14A	清水 重周	東千歳	第7後方支援連隊長	
14A	清水 直正	静岡	静岡地連	
14A	中原 勇	健軍	西部方面総監部人事部	
14A	原田 敏男	海田市	第13後方支援連隊	
14F	今井 岸男	退職	三陽機器(株)	
14F	高須 好美	退職	高須電気エンジニアリング(株)	
14N	森田 則広	厚木	航空集団幕僚	
15A	井口 昌之	目黒	幹部学校	
15A	上杉 和壽	海田市	13師団4部	
15A	大竹 義信	古河	施設補給処整備部整備管理課長	
15A	岡 隆	武山	第1教育団第104教育大隊長	
15A	長船 敬天	千僧	第3師団司令部総務課長	
15A	奥野 耕三	宇治	関西地区補給処企画室計画幹部	
15A	加藤 三千夫	仙台	東北方面通信群長	
15A	遠田 雅美	明野	航空学校	
15A	土居 良治	帯広	第107地区警務隊長	
15A	野間口 光男	退職	891-01鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-21-8	鹿児島大勤務
15A	花房 晃夫	健軍	西方総監部調査部	
15A	古川 照久	松戸	第2高射特科群	
15A	三嶋 利克	朝霞	東部方面総監部調査部	
15N	今村 修治	海幕副監察官		
15N	中島 栄一	那覇	第5航空群司令	
15N	山下 啓介	退職	〒235 横浜市磯子区森が丘2丁目23の5	
15N	山崎 富雄	桧町	海幕調査2課情報1班長	
15F	島田 徹	入間	第1高射群副司令	
15F	福嶋 健司	浜松	航空教育集団教育計画課長	

平成8年度成果報告

1 関東学生大会 (平成8年5月4日; 日本武道館)

段外の部	敢闘賞	1 1 2 (2)	梅原航	・ 2 4 3 (2)	江畑泰孝
少拳士の部	最優秀賞	4 4 2 (4)	後藤仁志	・ 4 3 1 (4)	石井伸幸
男子二人掛の部	敢闘賞	1 3 3 (4)	三宅英明	・ 3 1 1 (4)	大川洋史
		4 3 3 (4)	小段雄三		
男女混合の部	最優秀賞	4 1 3 (4)	佐久間博	・ 4 4 2 (2)	田村育子
団体演舞の部	最優秀賞				
(関東学生OB杯受賞)		1 3 2 (4)	片上裕文	・ 2 3 3 (3)	清水優
		4 2 2 (4)	中江宏章	・ 4 2 2 (4)	建部広喜
		1 1 1 (3)	葛西成彦	・ 1 1 3 (3)	平野仁之
		1 2 1 (3)	永島透	・ 1 3 1 (3)	清水辺大
		2 3 2 (3)	尾崎公彦	・ 2 4 3 (3)	井田輝彦
		4 2 2 (3)	土本邦義	・ 4 4 1 (3)	古賀信之

2 全日本学生大会の部 (平成8年10月20日; 日本武道館)

段外の部	最優秀賞	4 1 1 (2)	春日英男	・ 1 4 1 (2)	松口俊三
准拳士の部	優良賞	4 3 3 (2)	古谷尚久	・ 1 3 3 (2)	荒柴拓也
少拳士の部	予選落ち	4 1 3 (4)	佐久間博	・ 1 2 3 (4)	吉村裕樹
中拳士以上の部	敢闘賞	4 4 2 (4)	後藤仁志	・ 4 3 1 (4)	石井伸幸
	予選落ち	1 1 1 (4)	和崎拓己	・ 1 4 2 (4)	川崎英輔
二人掛の部	本選落ち	1 3 3 (4)	三宅英明	・ 3 1 1 (4)	大川洋史
		4 3 3 (4)	小段雄三		
単演の部	予選落ち	1 3 2 (4)	片上裕文		
団体演武の部	優秀賞				
		1 1 3 (3)	平野仁之	・ 1 2 1 (3)	永島透
		1 3 1 (3)	清水辺大	・ 2 3 2 (3)	尾崎公彦
		4 2 2 (3)	土本邦義	・ 4 4 1 (3)	古賀信之
		1 3 1 (2)	作田雄一	・ 1 1 2 (2)	梅原航
		2 4 2 (2)	小沢一隆	・ 2 4 3 (2)	江畑泰孝
		3 4 3 (2)	藤本裕介	・ 4 4 2 (2)	広瀬繁

3 横須賀市民大会兼横須賀三浦ブロック

(平成8年11月24日; 久里浜)

段外の部	優秀賞	1 1 3 (1)	若林友和	・ 2 1 3 (1)	伊藤恒和
男女混合の部	優秀賞	2 3 2 (1)	遠藤由紀子	・ 4 4 3 (1)	八尋幸一

4 全自衛隊大会 (平成9年2月23日; 検町)

段外の部	最優秀賞	4 3 1 (1)	西尾実	・ 4 4 3 (1)	八尋幸一
准拳士の部	優秀賞	2 4 2 (2)	小澤一隆	・ 1 3 3 (2)	荒柴拓也

部長・師範・顧問及び4 2期幹部名簿

1 部長・顧問

	所 属 等	内線	氏 名	住 所	電話番号
部長	化学教室 教授	2401	菅 野 等	〒236 横浜市区登科谷東6-34-1-411	045-786-5877
師範	正統士7段		田 村 倉 蔵	〒187 小平市美園町3-27-5	03-3261-0955
"	三多摩副道院長 大士6段		神 田 憲 和	〒272 市川市鬼高2-12-5-705	0473-33-6645
"	正統士6段		頼 富 英 武	〒238-03 横須賀市林5-6-11	0468-56-7663
顧問	学生課長補佐	2100	佐々木 二 郎	〒239 横須賀市走水2丁目無番地 C-4-1	0468-43-5456
"	海上防衛学教室	3842	平 原 誠	〒239 横須賀市二葉1-55 A-205	0468-41-6857
"	1大隊首席指導教官	2710	財 城 昭 彦	〒239 横須賀市走水2-25 1-204	0468-43-5377
監督	3 1 中隊指導教官	2731	山 田 顕 嗣	〒239 横須賀市走水2-26 A-305	0468-44-1598
顧問	4 3 1 小隊指導教官	2643	中 村 大 助	〒239 横須賀市走水2丁目無番地 A-102	0468-42-3879
"	1 4 1 小隊指導教官	2614	増 田 友 晴	〒239 横須賀市走水2-26 A-105	0468-41-8870
"	4 3 3 小隊指導教官	2643	渡 邊 浩	〒239 横須賀市走水2-26 A-202	0468-44-1290
"	研究科 (情報工学)	3773	大 西 淳 児	〒239 横須賀市走水1-10-20研究科学生会舎	な し
"	研究科 (電子工学)	2281	井 上 勝	〒232 横浜南区大岡3-5-31-101	045-721-8101
"	研究科 (研修生)	3175	倉 田 一	〒239 横須賀市走水1-10-20研究科学生会舎	な し
"	研究科 (応物)	2464	大 山 剛	〒239 横須賀市走水1-10-20研究科学生会舎	な し
"	研究科 (研修生)	3775	水 野 亮 二	〒239 横須賀市走水1-10-20研究科学生会舎	な し

2 第 4 2 期

主 将	4 4 1 (3)	古 賀 信 之
副 将	1 3 1 (3)	清 水 辺 大
統制長	1 2 1 (3)	永 島 透
道場長	2 3 2 (3)	尾 崎 公 彦
訓練係	1 1 3 (3)	平 野 仁 之
3年係	2 4 3 (3)	井 田 輝 彦
2年係	1 1 1 (3)	葛 西 成 彦
1年係	4 2 2 (3)	土 本 邦 義
安全係	3 4 3 (2)	藤 本 裕 介
師範係		
OB係	2 1 3 (2)	徳 永 亘
会計		
本山		
渉外	2 3 2 (3)	尾 崎 公 彦
主務		

部 員

4 1 期

小隊	専攻	要員	氏 名
1 1 1	応物	空	和崎 拓己
1 2 1	機シ	陸	阿達 文明*
1 2 3	機械	陸	吉村 裕樹
1 3 2	材物	陸	片上 裕文
1 3 3	機シ	陸	島ノ江英毅
1 3 3	機シ	陸	三宅 英明
1 4 2	応物	陸	川崎 英輔*
3 1 1	通信	海	大川 洋史
3 1 2	通信	空	松下 尚文
3 2 3	応化	陸	曾我辺信久
3 3 1	管理	陸	小林 貴
3 4 1	電気	陸	綿貫 俊一*
4 1 2	航宇	空	グバンデス
4 1 3	土木	陸	佐久 間博
4 2 2	土木	陸	中江 宏彰
4 2 2	土木	陸	建部 広喜
4 3 1	航宇	陸	石井 伸幸
4 3 3	電子	陸	小段 雄三
4 4 2	地球	陸	後藤 仁志

4 2 期

小隊	専攻	要員	氏 名
1 1 1	応物	陸	葛西 成彦
1 1 3	情報	海	平野 仁之
1 2 1	国関	陸	永島 透
1 3 1	数物	陸	清水辺 大
2 3 2	応化	海	尾崎 公彦
2 3 3	管理	陸	清水 優*
2 4 3	電気	陸	井田 輝彦
4 4 1	応物	陸	古賀 信之
4 2 2	機械	海	土本 邦義

4 3 期

小隊	専攻	要員	氏 名
1 1 2	管理	陸	梅原 航
1 3 1	管理	陸	作田 雄一
1 3 3	通信	海	荒柴 拓也
1 4 1	電子	陸	松口 俊三
2 1 1	航宇	海	森脇 竜二
2 1 3	電子	陸	徳永 亘*
2 4 2	土木	陸	小沢 一隆
2 4 2	航宇	陸	與藤 公彦
2 4 3	土木	海	江畑 泰孝
3 4 3	機械	陸	藤本 裕介*
4 1 1	国関	空	春日 英男
4 3 1	情報	陸	関 大吾
4 3 3	精機	陸	古谷 尚久
4 4 2	国関	陸	廣瀬 繁

4 4 期

小隊	専攻	要員	氏 名
1 1 3	理		若林 友和
1 2 3	理		副島 秀一郎
2 1 3	理		伊藤 恒和
2 1 3	理		日向 孝史
2 3 2	理		遠藤 由紀子
2 4 3	理		柳田 隆行
3 2 3	理		渡邊 俊明
4 1 3	理		蓑田 将太
4 3 1	人理		西尾 実
4 4 3	理		八尋 幸一

平成9年度少林寺拳法部年間計画

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
学校行事			24~29 春季休暇	入校式典 春季競技会			夏期定期訓練	夏期休暇	夏期競技会		開校記念祭	冬期競技会 冬期休暇
大会等	20~24 寒稽古	15 23 OB杯全自 航会	春合宿		関東学生大会	新歓 昇段審査		夏合宿 本山合宿		全日本 政権交代		
4 学年	演武 期間	O B 杯	春 合 宿	演武 期間	関 東 学 生 大 会	基 本	昇 段 審 査	夏 合 宿	演 武 期 間	全 日 本 学 生 大 会	政 権 交 代	
3 学年												
2 学年												
1 学年												基 本

員 陪

奧平會報



巻頭言

奥平会会長 永 富 信 吉

合 掌

奥平会の皆様におかれましては、御健やかに輝かしい新年をお迎えのことと思います。この年頭にあたり、僭越ではありますが一言述べさせていただきます。

早いもので防衛大学校を卒業してもう23年、人文館の屋上で大声を上げていたあの頃が、とても懐かしいと思うようになりました。しかし、テレビで格闘技の番組などを見ると心は学生時代に帰り、何でもできるような気がしてきます。同じような気持ちを持っておられる会員の方々もおられるのではないかと思います。いわば最も危険な年齢と言えるかも知れません。

そのような我々を含め、昨年卒業した40期の皆さんまで、少林寺拳法部は沢山のOBを輩出しています。考えてみますと10期生の時に同好会として発足、17期生の入校時に部員が100名を突破し、19期生の時に部昇格を果たして以来の卒業生が自衛隊に残っているの方々のみでも約600名以上にも達しています。これらの卒業生は、現在、陸、海、空自衛隊の様々なところで活躍しております。検町の各幕から地方の各部隊まで至る所におられるわけです。我々は、防大4年間の貴重な青春の時を、少林寺拳法部の活動の中で共に過ごし、その活動を通じて体力、気力を向上させることができましたが、このことは、それにも増して貴重な財産になっているのだと思います。卒業後、各自衛隊で仕事をする時、この繋がりのおかげで助けられた経験をお持ちの方は私だけではないと思うからです。自分の理想とするところを目指してファイトを燃やしてみても、所詮一人の力は限られています。また組織の中で物事を作り上げていくためには、多くの人を説得していかなければなりません。その時に、この繋がりは大きな力を発揮するのだと思います。

また、我が国は、現在、昨年春の日米首脳会談での日米安保の再確認、これに基づくガイドラインの見直し及び橋本首相の指示による緊急事態対応策の検討等、新時代におけるアジア・太平洋地域の安定に我が国がどのように寄与していくのかについて模索しており、そのような中で3自衛隊の統合的運用の重要性が益々高まってきています。防大の4年間で同じような考えで卒業しても、各自衛隊の持つカラーに染まってしまうがちな中で、防大設立の基本理念を達成するということにも、この繋がりは大きく貢献できると思います。

そのためにも、先輩後輩の繋がりを強くし、近年少なくなってきた部員の獲得にも努力し、「半ばは人のため」の精神で大いに助け合っていこうではありませんか。防衛大学校少林寺拳法部の益々の発展を祈念するとともに、皆様の御健勝を祈念しまして御挨拶とさせていただきます。

結手

平成8年度奥平会活動概要

1 現役部員に対する支援

春季・夏季合宿、関東・全日本学生大会等に対し支援を実施致しました。また、ご多忙中にも係わらず、OBの方々が大会等の応援に駆けつけてくださりまして、誠に有難うございました。来年度につきましてもできる限り大会の予定を御連絡いたしますので、応援の程よろしくお願い致します。

2 総会の実施

本年度2月15日、防大におきまして、坂本2佐始め会員の皆様の御出席を頂き、開催することができました。

なお本総会におきまして「OB会費の減少に伴う今後の対策」について話し合い、OB会費の出費の抑制特に部誌・OB会報発行費用を努めて抑えるよう決議いたしました。

3 平成8年度会計報告

別項の通り報告します。

なお、多数の方々から支援金を賜り、ありがとうございました。名簿について、別項の通り報告します。

4 丸川前部長の謝辞

別項の通り連絡します。

5 連絡事項

(1) 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人若しくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気づきの点がございましたら期連絡担当者または防大本部庶務まで御連絡下さい。

なお、所属等不明者には部誌を発送しておりません。

(2) 期連絡網について

期連絡網について別項のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等ありましたら期連絡担当者まで御連絡お願い致します。

(3) 本部連絡先

防衛大学校43中隊 1等陸尉 中村大助 (庶務)

TEL 専用線 8-40-2643

局線 0468-41-3810

平成8年度奥平会本部

会長	17F	永富信吉 (空幕 561)	幹事	33F	増田友晴 (防大会計 2731)
副会長	16A	佐々木二郎 (防大 2100)	〃	34N	渡邊 浩 (防大 2643)
幹事	18N	平原誠 (防大 2563)	〃	35A	大西純児 (防大 3773)
〃	22A	財城昭彦 (防大 2710)	〃	36A	井上勝 (防大 2281)
〃	28F	山田顕嗣 (防大監督 2731)	〃	36A	倉田 一 (防大 3175)
〃	30A	中村大助 (防大庶務 2643)	〃	37A	大山 剛 (防大 2464)
			〃	38A	水野亮二 (防大 3775)

その他

会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは防大本部庶務までご本人または近傍の会員の方から御一報頂きますようお願い致します。

6 奥平会名簿

別項の通り御連絡します。

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
15	安村 幸次	退職	東京都世田谷区弦巻3-3-17 A-203	
16A	内山 晃	小平	調査学校	
16A	岡田 正一	伊丹	中央総監部装備部	
16A	佐々木 二郎	防大	訓練部学生課	
16A	斉藤 健治	霞ヶ浦	武器補給所	
16A	竹内 準一	岡山	岡山地連	
16A	富本 啓一	八尾	中部方面航空隊	
16A	平川 真士	仙台	東北方面総監部防衛部	
16A	芦岡 広明	立川	東部方面航空隊	
16N	阿部 哲夫	横須賀	ちょうかいぎ装員長	
16N	福島 一夫	退職	新生電工(株)営業部	
16F	小笠原 猛			
16F	八木橋 享	殉職		
17A	荒木 正廣	前川原	幹部候補生学校企画室	
17A	飯島 定雄	市ヶ谷	通信団本部	
17A	小池 保治	遠軽	第25普通科連隊長	
17A	小坂 正志	市ヶ谷	通保監隊	
17A	佐藤 吉信	桧町	陸幕装備部	
17A	鈴木 陽	北千歳	第71戦車連隊長	
17A	高橋 輝正	退職		
17A	富安 久芳	富士	富士教導団本部	
17A	中尾 吉孝	朝霞	東部方面総監部	
17A	廣瀬 誠	留萌	第26普通科連隊長	
17A	福澤 賢	伊丹	中部方面総監部総務部	
17A	村田 芳次	神奈川	神奈川地連	
17A	吉川 雄二	三宿	技術研究本部(陸付)	
17N	塔岡 道夫	呉	まつゆき艦長	
17N	西嶋 正幹			
17N	久和 清幸	大湊	しらゆき艦長	
17F	石渡 幹生	千歳	1防群司令	
17F	稲見 潔	桧町	空幕補給2班長	
17F	澤 博海	退職	東広島市西条町吉行1-40	
17F	永富 信吉	檜町	統幕事務局1室	
17F	西岡 義博	府中	航空総隊司令部	
17F	細田 敏夫	退職	高崎市石原町1729-1	
17F	前田 慎一	浜松	浜松救難隊長	
17F	松田 清明	那覇	南西航空施設隊司令	
17F	山本 剛	退職		
17F	磯野 茂樹	三沢	北警団26警司令	
18A	安藤 恒夫	小平	業務学校	
18A	上田 正文	練馬	東部方面総監部総務部	
18A	大西 正俊	座間	第3施設群	
18A	河野 基春	建軍	西方総監部装備部施設課営繕班長	
18A	川原 彰	旭川	第106警務隊長	
18A	門野 陸廣	桧町	陸幕通信電子課通信器材班	
18A	工藤 重見	三宿	技術研究本部(陸付)	
18A	首藤 敏明	桧町	第6後方支援連隊補給隊	
18A	紫村 敬二	桧町	陸幕調査部4班	
18A	千原 和人	松戸	需品学校	
18A	中島 仁文	健軍	健軍業務隊	
18A	麩澤 章雄	札幌	上富良野業務隊	
18A	宮田 秀二	木更津	第1へり団本部	
18A	渡辺 義幸	那覇	第1混成団高級幕僚	
18N	岩渕 秀樹	呉	第4護衛隊群首席幕僚	
18N	近藤 清司	那覇	第5航空隊副長	
18N	平原 誠	防大	防大海上防衛学教室教授	
18N	松井 博	厚木	航空集団司令部幕僚	
18F	笠原 久	桧町	空幕運用課	
18F	白教 裕樹	退職	京都市右京区西京極南大入町54-5	
18F	長尾 齋	檜町	空幕調査部調査1課	
18F	勘米 幸一	市ヶ谷	補給本部	
19A	青柳 忍	仙台	東北方面総監部総務部	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
19A	迫田 直心	前川原	幹部候補生学校	
19A	園部 武典	桧町	陸幕調査部調査第2課2班	
19A	津留崎 清宝	船岡	第2施設団本部	
19A	野村 俊朗	富士	装備開発実験隊	
19A	広瀬 和紀	小倉	第40普通科連隊第3科長	
19A	東 光博	退職	浦安市弁天2-17-12	
19A	古庄 和裕	富士	富士学校特科部研究科	
19A	前之園 敏雄	朝霞	東部方面總監部人事部	
19A	三星 忠正	仙台	東北方調査隊仙台派遣隊長	
19A	屋久 俊郎	習志野	第1空挺団本部	
19A	横島 秋男	東立川	中央地理隊	
19N	松山 守秀	厚木	第51航空隊付	
19F	磯 光三	入間	第4補給所	
19F	小曲 一之	目黒	幹部学校	
19F	郷田 進章	檜町	空幕管理課	
19F	後藤 昌宏	退職	春日市若葉台西3-40	
19F	杉山 栄一	退職		
19F	園山 秀明	桧町	北九州市門司東1-1-20-10	
19F	田中 和弥	檜町	施設庁	
19F	藤井 睦裕	檜町	空幕整備基準班	
19F	松下 博	美保	空幕整備部	
19F	吉本 昭夫	明野	第3輸送航空隊	
20A	浅原 裕幸	小平	航空学校	
20A	楠本 実	富士	業務学校	
20A	小林 喜隆	札幌	装備開発実験隊	
20A	榎 正明	札幌	101システム管理隊	
20A	高岡 久晃	健軍	西部方面總監部防衛部	
20A	仲原 康司	目黒	幹部学校	
20A	半澤 修	東千歳	第7師団2部	
20A	馬場崎 享	退職		
20A	伏木 克己	霞ヶ浦	武器補給所	
20A	山形 孝彦	目黒	統幕校	
20N	木村 裕	桧町	海幕人事課兼人事局人事2課	
20F	石田 昌文	長野	長野地連募集課長	
20F	岸本 久	築城	8空団	
20F	高林 清美	浜松	1空団	
20F	岳川 清宏	千歳	北警団8移警隊長	
20F	南園 和之	三沢	警戒航空隊	
20F	田中 昭次郎	目黒	幹部学校	
21A	大谷 隆	今津	第10戦車大隊長	
21A	加藤 倫生	札幌	北部方面總監部防衛部	
21A	貴志 幹夫	伊丹	第310基地通信中隊長	
21A	桑原 隆	帯広	5師団法務官	
21A	湖崎 研次	目黒	幹部学校研究員	
21A	澤井 郁夫	札幌	北部方面總監部防衛部	
21A	園田 久奏	練馬	東部方面總監部防衛部	
21A	高橋 敏治	秋田	秋田地方連絡部	
21A	野中 一志	宇都宮	宇都宮業務隊総務科	
21A	花田 勝誠	仙台	東北方調査隊	
21A	浜崎 誠	東千歳	第7後方支援連隊	
21A	渡部 宏誠	三宿	技術研究本部	
21N	城山 隆	退職		
21N	福岡 隆	船越	潜水艦隊司令部幕僚	
21N	村田 次郎	佐世保	きりしま砲雷長兼副長	
21N	山口 幸彦	小松島	小松島航空隊	
21F	木山 雅章	岐阜	2補	
21F	黒澤 永武	府中	1術校	
21F	真田 弥行	留学生	航空総隊司令部	
21F	朱 和史	芦屋	シンガポール在住	
21F	杉本 和史	退職	3術校	
21F	鍋島 幸男	入間	2輸送隊	
21F	沼田			

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
21F	平本 行	三沢	北空	
21F	廣江 勝馬	桧町	空幕厚生課	
21F	松本 修司	檜町	空幕総務課	
21F	田原 俊幸	桧町	空幕防衛部防衛課	
22A	大本 建吾	東立川	中央地理隊	
22A	財城 昭彦	防大	第1大隊首席指導教官	
22A	島松 正一	久留米	幹候補校	
22A	永栄 文晴	桧町	陸幕装備部	
22A	野口 利保	東千歳	第7偵察隊長	
22A	原田 有繁	札幌	北方監察官付	
22A	松本 俊二	札幌	北部方面總監部防衛部	
22A	松村 利宏	桧町	陸幕防衛部防衛課	
22A	吉岡 聖二	桧町	陸幕防衛部研究課研究班	
22N	高塚 裕幸	呉	かしま副長	
22N	塚田 真司	桧町	海幕教育課	
22N	中谷 茂	船越	第2掃海隊群幕僚	
22N	延近 保生	桧町	海幕航空機課	
22N	坊垣内 広明	船越	運用開発隊	
22F	木戸 文夫	千歳	航教団千歳救難隊	
22F	小関 信宏	桧町	空幕防衛部	
22F	酒井 伸	春日	西空	
22F	堂込 勝也	小牧	航教団整備群	
22F	永瀧 盛重	築城	8空団	
22F	野村 勝廣	目黒	幹部学校	
22F	横手 裕明	千歳	千歳管制隊長	
23A	奥野 和男	桧町	陸幕装備部輸送課	
23A	谷崎 敏弘	帯広	帯広地連	
23A	廣塚 雅史	朝霞	東部方面總監部防衛部	
23A	日高 政広	桧町	陸幕防衛部運用課運用1班	
23A	丸山 和宏	旭川	2師団3部	
23A	三木 元秀	千歳	第3通信大隊	
23A	若杉 治徳	真駒内	第11師団総務課	
23A	岩田 清文	桧町	陸幕防衛部	
23A	浦川 平次	久居	第33普通科連隊	
23N	井之久保 雄三	桧町	海幕装備体系課	
23N	井口 義定	下総	第3術科学校教官	
23N	数野 謙一	呉	練習艦隊幕僚	
23N	畑中 孝行	舞鶴	第3護衛隊群幕僚	
23N	山下 啓治	目黒	海上自衛隊幹部学校研究部員	
23N	四元 和生	呉	潜水艦教育訓練隊	
23F	池邊 正	桧町	空幕防衛課	
23F	馬谷 誠二	退職	東大阪市日下町3-1-5-319	
23F	川添 一正	退職		
23F	シンナロン	留学生	タイ王国在住	
23F	松尾 茂	目黒	幹部学校	
23F	宮田 義章	那覇	南混団	
24A	浅野 博義	桧町	陸幕防衛部	
24A	稲葉 貞志	桧町	陸幕装備部航空機課総括班	
24A	太田 尚志	桧町	中央資料隊付	
24A	大久保 和美	朝霞	東部方面總監部防衛部	
24A	金田 辰美	横浜	調達実施本部	
24A	芹川 慎介	市ヶ谷	中央調査隊	
24A	高澤 慎司	退職	(株)東京アイシーエス	
24A	常田 義則	退職	小田原市千代475-1	
24A	中村 健蔵	三宿	技術研究本部	
24A	西津 護	広島	広島地連	
24A	瀧 靖隆	桧町	陸幕調査部第1課	
24A	堀之内 誠	桧町	陸幕調査部第2課	
24A	山田 雅巳	桧町	陸幕調査部第1課	
24A	山川 純次	桧町	陸幕装備部開発課総括班	
24N	小川 勝志	横須賀	ちよだ船務長	
24N	佐伯 泰啓	横須賀	はるさめぎ装員	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
24N	中村 早速	呉	いそゆき砲雷長兼副長	
24N	長谷川 陸	退職		
24N	松田 俊宏			
24N	山本 浩	退職	北九州市小倉南区湯川3-8-16	
24F	佐藤 秀幸	松島	空幕運用課	
24F	清水 尚志	市ヶ谷	補給本部	
24F	出口 潔	松島	4空団	
24F	中館 利光	千歳	2空団	
24F	藤城 希恭	浜松	教育集団	
24F	山田 真一	新田原	5空団	
25A	石川 哲也	松島	松島業務隊付	
25A	大内 元	三宿	技術研究本部	
25A	岡元 正一	富士	富士学校特科部	
25A	小野寺 靖	松島	陸幕教育訓練部	
25A	小菅 康雄	松島	会計監査隊本部	
25A	佐伯 義次	伊丹	中部方面総監部人事部	
25A	重石 義幸	松島	陸幕防衛部運用課運用1班	
25A	田草川 茂人	松島	陸幕人事部	
25A	若本 順二	岡山	岡山地連	
25N	内山 哲也	横須賀	はたかせ船務長	
25N	籠谷 貴年	船越	プログラム業務隊	
25N	河村 正雄	松島	海幕防衛課	
25N	杉原 耕二	松島	せとゆき砲雷長兼副長	
25N	高島 修	防医大	防衛医大訓練課訓練企画係長	
25F	安芸 一	松島	空幕防衛課	
25F	尾崎 信朗	松島	空幕通電課	
25F	坂本 卓己	松島	空幕装備部	
25F	藤吉 恵一	松島	空幕補給課	
26A	石川 毅	板妻	第34普通科連隊	
26A	内海 浩	明野	航空学校	
26A	小野 長門	退職	熊本(熊本工大)	
26A	及川 幸夫	松島	陸幕防衛部	
26A	金子 寿弥	松島	陸幕装備部	
26A	坂野 佳彦	富士	富士学校機甲科部	
26A	谷 俊彦	旭川	2師団司令部3部	
26A	滝沢 由則	退職	札幌市中央区南12西16 滝沢由子方	
26A	友部 隆	札幌	11師団司令部2部	
26A	中村 明弘	退職	横浜市緑区長津佐3-27-14	
26A	河原 敏和			
26A	松田 正行	札幌	11師団司令部3部	
26A	山下 清隆	静内	第7高射連隊	
26A	吉田 英紀	松島	陸幕副監察官	
26A	吉田 吉宏	古河	施設補給処	
26A	石山 暁	松本	第13普通科連隊	
26N	市坪 秀明	目黒	海上自衛隊幹部学校(CS)学生	
26N	上野 真一郎	館山	第121航空隊	
26N	佐藤 寿紀	松島	統幕3室	
26N	杉山 義和	舞鶴	舞鶴地方総監部防衛部	
26N	道満 誠一	呉	あきしお副長兼航海長	
26N	平野 勝	舞鶴	舞鶴地方総監部防衛部1室長	
26N	水野 伸彦	松島	海幕援護業務課	
26N	相良 達也	厚木	第3航空隊	
26F	池島 暢也	百里	7空団	
26F	澤木 優輔	退職		
26F	福島 睦	松島	空幕防衛部防衛課	
26F	星川 敦	新田原	飛救隊整備隊	
26F	米子 誠二	松島	空幕装備部調達課	
27A	大石 隆一	退職		
27A	大場 基美雄	松島	陸幕調査部	
27A	緒方 禎浩	退職		
27A	大居 一彦	松島	陸幕装備部武器化学課弾薬班	
27A	川村 治彦	退職	〒305 筑波市東2-10-2-201	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
27A	行事 正	下志津	高射学校研第1研究室	
27A	角南 良児	檜町	2次ゴラン輸送隊長	
27A	長合 友造	檜町	陸幕人計企画班	
27A	津田 浩司	富士	富士学校特科部訓練評価室	
27A	濱田 秀	小倉	第40普通科連隊第1中隊	
27A	馬場 政和	退職		
27A	舞原 博己	帯広	第5通信大隊S3	
27A	山之上 哲郎	檜町	陸幕防衛部	
27A	米山 多佳志	都城	第43普通科連隊第2中隊	
27N	小川 昌宏	舞鶴	舞鶴地方総監部防衛部	
27N	五領 隆男	横須賀	なだしお副長兼航海長	
27N	交口 俊介	目黒	海上自衛隊幹部学校(CS)学生	
27N	中里 巧	退職	横須賀市鴨居2-69-4(中島機械)	
27N	益田 徹也	市ヶ谷	業務隊付 産経新聞研修	
27N	山田 洋士	目黒	海上自衛隊幹部学校(CS)学生	
27F	足立 謹聡	秋田	航空救難隊	
27F	兼古 修	新田原	5空団202飛行隊	
27F	甲斐 新太	三沢	警戒航空隊装備班長	
27F	蔵田 衛人	退職		
27F	沢村 徹	退職	町田市忠住3-14-3ビュ-ル番Ⅱ-201	
27F	高野 宗治	千歳	特別輸送航空隊	
27F	西山 利昭	退職	長野県	
27F	堀田 隆治	岐阜	空幕装備部装備課	
27F	元木 啓嗣	浜松	1術校	
28A	畦地 勇	退職	東京都小平市学園西町2-10-17-203	
28A	足立 哲彦	目黒	幹部学校	
28A	岡沢 武彦	富士	富士学校機甲科部	
28A	北原 秀章	檜町	陸幕教育訓練部	
28A	幸野 英明	富士	富士学校総研2室	
28A	古賀 敏明	旭川	第2特科連隊第1大隊	
28A	永井 大介	退職		
28A	日高 信行	旭川	第26普通科連隊	
28A	藤原 修	北恵庭	第1戦車群303中隊長	
28A	三好 邦夫	富士	富士学校特科部	
28A	矢野 光宏	檜町	陸幕教育訓練部	
28A	湯浅 悟郎	檜町	陸幕人事計画課	
28A	越水 達哉	退職		
28A	吉田 正己	退職		
28N	鈴木 巧	退職	栃木県宇都宮市緑4-1550-84	
28N	竹本 直忠	舞鶴	舞鶴地方総監部人事課	
28N	西小路 謙	退職	奈良市生駒郡三郷町2-12-2 三郷コ-プ 304	
28N	内田 公明	檜町	海幕技術1課	
28N	河津 稔	舞鶴	舞鶴地方総監部契約課	
28N	平島 一	退職		
28N	鶴見 耕市	退職	茨城県取手市青柳354-2キャッスル105	
28N	中川 勝也	退職	愛知県西加茂郡藤岡町大字石畳242-46	
28N	米田 健二	退職	東京都多摩市関戸2-40-3 1104	
28F	今井 邦夫	市ヶ谷	補給本部第3補給課	
28F	神山 隆	退職		
28F	白水 裕人	目黒	幹部学校	
28F	末広 勝己	岐阜	飛行開発実験団飛行隊	
28F	山田 顕嗣	防大	第31中隊次席指導教官	
29A	青柳 光	退職	山梨県中巨摩郡昭和町上河東543-1-30	
29A	浅川 玉樹	退職	神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-18-16-20	
29A	蛭原 良雄	土浦	武器学校FOC学生	
29A	大川 浩史	富士	富士学校普通科部FOC学生	
29A	甲斐 正人	大宮	埼玉地方連絡部	
29A	川上 和美	退職	不明	
29A	駒井 紀美彦	大宮	化学学校FOC学生	
29A	坂井 辰也	久里浜	通信学校FOC学生	
29A	新保 博徳	吉井	武器補給処吉井弾薬支所	
29A	鈴木 総一郎	逝去		

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
29A	託摩 安広	退職	北海道札幌市北区北22条西4丁目2-25	期担当
29A	立林 剛	下志津	高射学校研究部第1研究室	
29A	谷 拓弥	北千歳	第1特科団	
29A	津田 芳明	檜町	統幕 中央指揮所	
29A	中村 浩之	目黒	幹部学校 #41 CGS	
29A	古川 靖人	武山	少年工科学校第1教育隊	
29A	古田 清悟	福岡	第19普通科連隊第2中隊長	
29A	水上 義仁	大宮	中央システム管理隊	
29N	柏木 均	呉	あきしお機関長	
29N	小屋敷 秀彦	退職	群馬県勢多郡宮城村大字柏倉3693-3	
29N	佐竹 右幾	退職	石川県七尾市白馬町ワ部10-1	
29N	宮田 敏邦	佐世保	はるな航海長	
29N	山崎 浩一	船越	はつゆき船務長兼副長	
29F	熊田原 修	市ヶ谷	補給本部第2整備課	
29F	高松 実	目黒	幹部学校 #44 CS学生	
29F	西村 政恭	那覇	南西航空混成団司令部運用課	
30A	池永 博和	大宮	中央システム管理隊	
30A	岩熊 真司	目黒	幹部学校 TAC学生	
30A	魚躬 治晴	退職	東京都板橋区高島平2-33-7-818	
30A	魚住 晴康	朝霞	東部方面總監部 防衛部	
30A	亀山 淳	名古屋	愛知地連	
30A	笠島 広文	退職	〒916 鯖江市水落町1丁目4-23	
30A	菅野 俊夫	目黒	幹部学校 TAC学生	
30A	土屋 甲吉	桧町	防衛庁 広報課	
30A	中井 馨	退職	甲賀郡石部町金ヶ町865	
30A	中村 大助	防大	第431小隊指導教官	
30A	中川 洋行	三宿	技術研究本部 航空付	
30A	中森 雅美	明野	航空学校	
30A	西 良典	練馬	第1師団司令部3部	
30A	林 宏幸	檜町	陸幕調査部	
30A	福田 洋司	目黒	幹部学校 TAC学生	
30A	船津 達男	退職	〒822-11福岡県田川郡赤池町高尾通	
30A	松岡 恭一	退職	〒277 千葉県柏市日立台1-1-2-306	
30A	宮本 善弘	目黒	幹部学校	
30A	矢納 祐二	船岡	416会計隊	
30A	山口 芳正	目黒	幹部学校 #42 CGS	
30N	鈴木 達雄	退職	〒854 長崎県諫早市東小路町805	
30N	時久 寛司	桧町	海幕運用課	
30N	百崎 邦彦	厚木	厚木プログラム業務分遣隊	
30N	湯浅 秀樹	呉	呉補充部付	
30F	栗田 尚幸	殉職		
30F	黒田 健一	退職	〒673-02兵庫県神戸市西区糺船3-45-29	
30F	後藤 豊	退職	〒544 大阪府大阪市生野区鬮南1-21-19	
30F	高橋 親敏	府中	支援団司令部装備部	
30F	西本 彰雄	三沢	北警団	
30F	橋爪 猛	市ヶ谷	補給本部	
30F	吉田 憲司	市ヶ谷	補給本部3部第3補給課	
31A	石丸 威司	目黒	幹部学校 #41 CGS	
31A	池ノ本 一郎	富士	装備開発実験隊車両装輪班	
31A	大島 龍一郎	退職	堺市上野芝町8-1-4	
31A	亀山 慎二	目黒	幹部学校 #41 CGS	
31A	久保 敏浩	富士	富士学校機甲科部	
31A	佐野 光	目黒	幹部学校	
31A	椎野 健治	立川	東部方面隊航空隊	
31A	田口 直志	土浦	武器学校	
31A	辰巳 竜悟	退職	兵庫県加古川市八幡町野村487-3	
31A	辻 政幸	下志津	高射学校	
31A	中川 博英	目黒	幹部学校	
31A	橋本 哲彰	目黒	幹部学校	
31A	久富 博幸	退職	長崎県西彼杵群長与町三根郷55-30	
31A	藤岡 登志樹	富士	装備開発実験隊	
31A	松井 健一	富士	装備開発実験隊	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
31A	吉武 辰明	朝霞	輸送学校	
31N	蝦名 伸治	江田島	第1術科学学校幹部中級航海学生	
31N	岡田 岳司	佐世保	くらま航海長	
31N	大井 一史	江田島	幹部候補生学校	
31N	甲斐 義博	佐世保	第2護衛隊群司令部幕僚	
31N	久保田 修一	江田島	第1術科学学校幹部中級艦艇用兵学生	
31N	迫田 浩文	大湊	ゆうぐも船務長	
31F	阿部 博文	府中	航空氣象群	
31F	北村 克晶	浜松	第2術科学学校	
31F	小南 良人	殉職		
31F	近藤 良彦	浜松	1航団	
31F	渋沢 寛	防府北	12飛教団	
31F	野沢 隆一	千歳	第2航空団第203飛行隊	
32A	市来 道啓	板妻	第34普通科連隊	
32A	大塚 裕治	目黒	幹部学校	
32A	大塚 和也	下志津	高射学校	
32A	小原 真二	退職	航空大学校 宮崎市赤江字飛江田学生寮	
32A	小田 益男	富士	特科教導隊	
32A	上山 聡	海田市	第13師団司令部3部	
32A	川崎 誠二	目黒	幹部学校 CGS	
32A	境 孝明	富士	富士学校普通科部	
32A	更工 雅彦	退職	奈良県橿原市和田町32-4	
32A	神保 俊昭	退職	和歌山県東牟婁郡古座町中湊531	
32A	田口 芳郎	退職	三鷹市牟礼5-2-17-105	
32A	竹内 利治	伊丹	中部方面総監部防衛部	
32A	中村 裕亮	目黒	幹部学校 CGS	
32A	平田 雄嗣	富士	富士学校普通科部	
32A	福元 昌二	旭川	第2特科連隊第2大隊	
32A	福重 毅尚	富士	戦車教導連隊	
32A	山地 伸一	小平	調査学校付	
32N	河上 康博	江田島	第1術科学学校幹部中級掃海学生	
32N	後藤 幸英	退職		
32N	澤本 武朝	退職		
32N	松尾 研志	退職		
32F	植村 茂己	三沢	警戒航空隊整備群	
32F	鈴木 憲	浜松	第2術科学学校第1科	
32F	高橋 秀雄	入間	中部航空警戒管制団	
32F	山口 直人	奈良	幹部候補生学校	
32F	渡部 誠	岐阜	飛行開発実験団	
33A	池田 誠喜	霞ヶ浦	武器学校	
33A	大津 勝利	富士	特科教導隊本部	
33A	柿野 忠嗣	海田市	第13後方支援連隊付	
33A	川崎 英幸	退職	広島県西区古江西町22-16ビル高精2401	
33A	近藤 哲也	東千歳	第7特科連隊2大隊	
33A	郡山 直樹	湯布院	第3特科群112大隊	
33A	椎葉 博正	退職	東京都荒川区西日暮里3-25-160イムクリン502	
33A	谷口 喜一郎	久留米	幹部候補生学校	
33A	富樫 勇一	滝ヶ原	普通科教導連隊4中隊	
33A	中塚 修一	東千歳	第11普通科連隊	
33A	半澤 新吾	退職		
33A	智 容司	退職	アメリカンファミリー	
33A	細野 真也	遠軽	第25普通科連隊	
33A	山本 裕一	勝田	施設学校	
33A	山本 直樹	退職	札幌市南区澄川1条4丁目6-14東コーポ107	
33N	鵜澤 直樹	退職		
33N	関口 雄輝	船越	はつゆき航海長	
33N	高橋 真一	退職		
33N	西窪 純	退職	横浜市芝区笠間1232-2-203	
33N	町島 敏幸	那覇	第5航空隊	
33N	渡辺 浩	防大	第433小隊指導教官	
33F	新崎 秀樹	小松	第6航空団306飛行隊	
33F	岡本 秀文	千歳	特別航空輸送隊	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
33F	田中 勝也	退職	(株)兼松	
33F	荒木 俊一	那覇	南西航空警戒管制隊	
33F	高草木 浩寿	松島	第4航空団飛行群	
33F	増田 友晴	防大	第141小隊指導教官	
33F	御厨 広之	三沢	第6高射群	
34A	石黒 太美英	神町	第6飛行隊	
34A	篠原 康一	土浦	武器教導隊2中隊	
34A	田中 一要	北千歳	第71戦車連隊	
34A	田丸 正勝	松本	第13普通科連隊	
34A	筒井 鋭達	都城	第43普通科連隊	
34A	能井 智治	島松	北部方面武器隊	
34A	松永 康則	新発田	第30普通科連隊	
34A	平林 理	真駒内	第11戦車大隊	
34A	氷室 正一郎	退職	東陶機器松が丘	
34A	竹内 博忠	岐阜	技術研究本部	
34N	富山 修	横須賀	横須賀地方総監部総務課	
34N	丹羽 満良	下総	第3術科学学校幹部中級航空装備学生	
34F	羽田 充伸	市ヶ谷	補給本部	
34F	小笠原 卓人	奈良	幹部候補生学校	
34F	河田 成治	退職	埼玉県上福岡市上福岡3-4-12ビル106	
34F	田代 秀也	当別	第45警戒群	
35A	安藤 和幸	霞目	東北方面へり隊	
35A	戒田 重雄	習志野	第1空挺団本部	
35A	川嶋 和之	北宇都宮	第12飛行隊	
35A	木場 元大	伊丹	第36普通科連隊	
35A	坂本 雄一	名寄	第3普通科連隊	
35A	瀬戸口 淳	八戸	第5高射特科群	
35A	中村 健太郎	高田	第2普通科連隊	
35A	中本 尚明	市ヶ谷	第32普通科連隊	
35A	福本 博史	山口	第17普通科連隊	
35A	馬淵 貴氏	福島	第11施設群	
35A	袖之原 公郎	目達原	第4飛行隊	
35N	加藤 寛和	横須賀	つしま	
35N	中原 俊行	呉	やまゆき	
35N	三浦 則文	呉	みねぐも航海長	
35N	森泉 周	館山	第121航空隊	
35F	中澤 武志	浜松	浜松救難隊	
35F	堀 修二郎	百里	第204飛行隊	
36A	井上 勝	防大	研究科	
36A	岩村 伝法	退職		
36A	櫻窪 正和	青野原	第8高射特科群	
36A	大北 知史	駒門	第1戦車大隊	
36A	倉田 一	久里浜	通信学校付	
36A	中村 英昭	名寄	第3普通科連隊	
36A	日高 邦登	北熊本	第8特科連隊	
36A	福島 浩一	小平	調査学校	
36A	藤岡 史生	真駒内	第3教育連隊302中隊	
36A	前田 尚男	久里浜	通信学校付	
36A	村上 至	横浜	中央輸送業務隊	
36A	矢口 鑑	駒門	第1高特大	
36A	山田 武彦	小平	調査学校付	
36N	鳥越 要	呉	みねぐも	
36F	綿森 昭示	浜松	第2術科学学校	
37A	大山 剛	防大	研究科学生	
37A	河合 寿士	目達原	西部方面武器隊	
37A	児玉 洋	大久保	第4陸曹教育隊	
37A	富原 大治	日本原	第13戦車大隊	
37A	平瀬 慎	古河	第1施設大隊	
37A	古田 和之	旭川	第2師団司令部2部	
37A	森安 宏徳	武山	第105教育大隊	
37A	山下 豊	滝川	第10普通科連隊	
37A	吉田 文二	北恵庭	第72戦車連隊	

期別	氏名	基地等	所属部隊等	備考
37N	石原 寿英	退職		
37N	岩本 正行	下総	201 支援整備隊	
37N	木下 治信	横須賀	横須賀造修所	
37N	鈴木 隆弘	横須賀	ふたみ	
37N	高取 哲郎	徳島	教育航空集団司令部付	
37F	久重路 剛	百里	7 航団施設隊	
37F	塚原 敏夫	知念	5 高群 1 8 高射隊	
37F	中居 景	浜松	教育集団司令部付	
37F	矢坂 勝良	松島	教育集団司令部付	
38A	水野 亮二	防大	研修生	
38A	奇藤 浩	神町	第20 普通科連隊	
38A	宮下 克聡	旭川	第2 特科連隊	
38A	黒子 智彰	丘珠	北部方面管気隊	
38A	尼子 将之	勝田	施設教導隊	
38A	高岡 徳人	伊丹	第36 普通科連隊	
38N	高橋 俊隆	徳島	教育航空集団司令部付	
38N	中村 格	佐世保	もちづき	
38N	城戸 利彰	徳島	教育航空集団司令部付	
38N	佐藤 滝大	徳島	教育航空集団司令部付	
38N	平井 穰治	退職		
38F	向井 洋史	築城	第8 航空団	
39A	井上 嘉史	えびの	第24 普通科連隊	
39A	井上 裕策	弘前	第39 普通科連隊	
39A	遠藤 英隆	丘珠	第7 飛行隊	
39A	小澤 謙雄	岩手	第9 特科連隊	
39A	杉原 正典	東千歳	第11 普通科連隊	
39A	達下 裕教	新発田	第30 普通科連隊	
39A	中村 公多郎	八戸	第9 後方支援連隊	
39A	長濱 誠			
39A	西田 美嗣	旭川	第2 後方支援連隊	
39A	野本 肇	北千歳	第1 地对艦ミサイル連隊	
39A	三好 英治	立川	東部方面ヘリ隊	
39N	大松 清生	呉	練習艦隊	
39N	鳥越 涉	呉	練習艦隊	
39N	松崎 徹	呉	練習艦隊	
39F	大塚 晋介	高良台	第8 高射群	
39F	久保 敦	浜松	教育集団司令部付	
39F	前床 泰彦	浜松	教育集団司令部付	
40A	上野 洋介	名寄	4 高特群	
40A	朽木 誠	帯広	4 普連	
40A	高田 善行	古河	1 施大	
40A	奈良 一志	海田市	1 3 通大	
40A	永友 恒知	秋田	2 1 普連	
40A	熊本 蔽	俱知安	2 8 普連	
40F	岩本 正臣	与座岳	第5 6 警戒群	
40F	小坂 淳	浜松	教育集団司令部付	
40F	山田 賢治	佐渡島	第4 6 警戒群	
40F	守井 孝志	浜松	教育集団司令部付	

合掌

いくらか寒さもゆるみ、OBの皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また日頃から貴重な時間を割いてのご協力、ご支援並びにご指導いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、ここに防大少林寺拳法部誌も第23号の発刊を迎え、平成8年度の成果をご報告することとなりましたが、本年度は残念な結果もあり、非常に恐縮するところであります。しかし、この逆境をバネに来年度へ向けまた新たな気持ちで日々修業に励み、諸先輩方の築き上げられた伝統と防大少林寺拳法部員としての誇りを受け継ぎ、たゆまぬ努力を続けていくいきたいと思えます。OB各位におかれましては、何かとご多忙中とは存じますが、変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しく願ひいたします。

最後に、本部誌発行にあたり、ご指導くださった部長、監督、顧問の方々をはじめ、投稿してくれた各学生に感謝し、編集後記と致します。

結手

平成8年度 OB係

ことばはアコ標榜おおアジま作の神の御音の日〇、あふあさち業心さうは
 編このアア開き開開が重負さ水即日さま、すまお上し申心運はるさこのし
 、ままりさごころあひるはこ編、アジまきアスハの華園ごころ並支ご、代
 更平 8 歳平、大庭き所袋の骨とS深の結霜お華や林の大明ごころ、アち
 飛、りあは果語は念袋お更平本、ゆさしまりはさごころす昔開ごま果知の
 が向へ更平来ご本はさ銀座のこ、しやし、すまりあアさごころす開逐ご武
 樹さ結おははるまもさ業のこ、しやし、すまりあアさごころす開逐ご武
 のアア開き開開が重負さ水即日さま、すまお上し申心運はるさこのし
 じ若おら申計をごころあひるはこ編、アジまきアスハの華園ごころ並支ご、代
 、すまお上し申心運はるさこのし、ままりさごころあひるはこ編、アジまき
 式の問題、音語、見語スごころあひるはこ編、アジまきアスハの華園ごころ並支ご、代
 、すまお上し申心運はるさこのし、ままりさごころあひるはこ編、アジまき
 手紙

